

# こう使う、新版『国語』



四月から、令和六年度版の教科書が使用開始になりました。新版教科書には、新しい教材や新しい工夫がたくさん盛り込まれています。子どもにとっては、わくわくする魅力や学ぶ喜び、力がついた実感が味わえるでしょう。先生方にとっては、教材のポイントや指導のしかたがよりわかりやすく、子どもたちの成長をしっかりとサポートできる内容になっています。

長年、光村図書の教科書編集に携わっていただいている阿部昇先生に、新版教科書のさまざまな特徴をどのように授業に生かしていくか、アドバイスをいただきました。



阿部 昇（あべ のぼる）

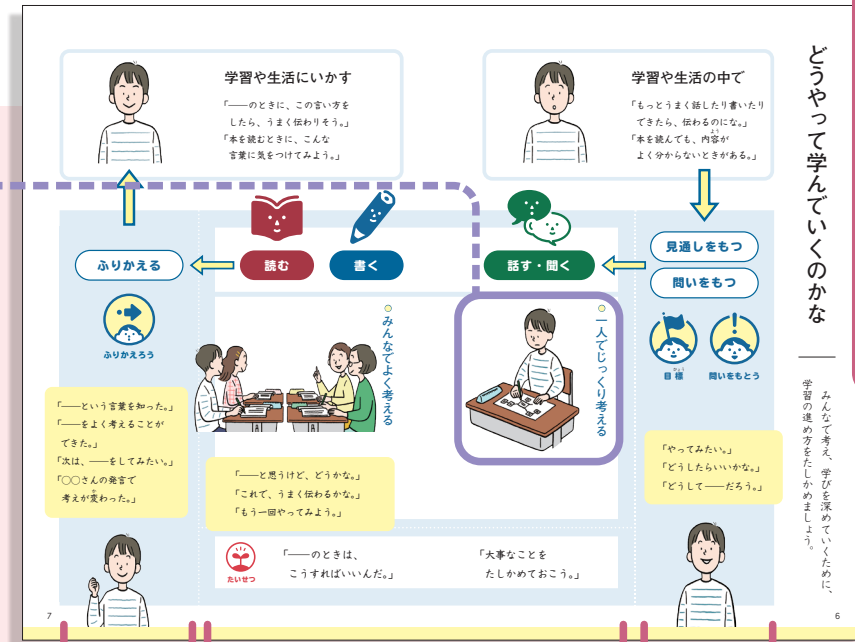
秋田大学名誉教授。東京未来大学特任教授。  
国語の教師・国語科教育研究者として、約40年にわたり国語授業の研究・実践を行っている。専門は、国語科教育学・教育方法学。（国語の指導過程研究、教材研究、対話型授業の研究、教科内容研究、学力調査研究など。）光村図書 小学校『国語』編集委員。

# 学び方がひと目でわかる

## 「国語の学びを見わたそう」

二年生以上の各巻頭に、学習の進め方を確かめたり、一年間の見通しをもったりするためのページ「国語の学びを見わたそう」を設けました。自分の思いを大事にしながら、言葉を使って学んでいくイメージをわかりやすく示し、さまざまな場で使える汎用的な力を育みます。ブックインブックになっているので、いつでも開きやすく、見返しやすくなっています。

どうやって学んでいくのかな



①「問い」が学びの  
出発点です。

②個別最適な一人  
一人の学びと、対話  
を通した協働的な  
学びの両面から、学  
びを深めていきま  
す。

③学びをメタ的に  
振り返ることで、成  
長を実感し、次の学  
びにつなげます。

ここに注目！

どうやって学んでいくのかなのページは、主体的・対話的な学びを通して、深い学びに結び付ける習慣づけを意図しています。特に6ページの「一人てじっくり考える」に注目してください。初めからグループやみんなで考えるのではなく、一人一人が自分なりの考えをもって対話に進むことが大切だということを示しています。

国語が苦手な子どもは、いきなりみんなで考える場面になると、どうしても周りの意見を聞いているだけという受け身の態度になりがちです。まずは自分なりの考え（仮説）をもって話し合いに臨み、話し合いの後、また一人一人で考え、さらに話し合うという往還が、主体的で対話的な学びの姿だと思います。



ブックインブックの構造に



他のページよりも幅が短く、紙質も違うので、いつでも開きやすく、見返しやすくなっています。

ここに注目！

〇年生で学ぶこと（学んだこと）のページは、学年開きで見通しをもつために確認した後も、授業が進むごとに振り返りながら使うようにするといでしょう。

そのとき学んだことと、過去の学び、未来の学びを意識的に結び付けることで、系統的な学びが生まれてきます。



〇年生で学ぶこと／〇年生で学んだこと

一年間の学び

これまでの学び

四年生で学ぶこと

言葉のじゆんび運動  
カを合わせてはばらに  
14

メモを取りながら聞く  
聞き取りメモのくふう  
44

自分とはちがう立場になって考える  
あひだなら、どう思う？  
120

役割りを使いしなから話し合う  
クラスで大きなことごとくはばらに話し合う  
120

四年生では、メモを取りながら聞く方法や、気持ちの伝わり方、話し合いのルールなど、これまでの学びを振り返りながら、新しい学びに進みます。

三年生で学んだこと

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

三年生で学ぶこと

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

二年生で学んだこと

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

一年生で学ぶこと

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

一年生で学んだこと

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

相手の気持ちを考える  
相手の気持ちを考える  
126

国語の学びを見わたそう

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

国語の学びを見わたそう  
122

# 子どもの「問い」から始まる深い学び

「学習」ページ（手引き）は、どうやって学んでいくのかなでの学びの流れに沿った紙面構成になっています。子どもの「問い」から学びが始まる新しい紙面です。  
学習が一望できるよう、**見通しをもと**から**ふりかえり**までを見開きで構成しました。

## 読むこと教材の学習ページ（手引き）

**学習**

**見通しをもと**

あなたは、「豆太」をどのような人物だと思えましたか。  
友だちは、どのように考えているでしょうか。

人物を表す言葉に気をつけて読み、「豆太」について考えたことを友だちとつたえ合おう。

年れいやくを表現する言葉など、人物を表す言葉に気をつけて。  
自分と友だちの考えのちがいを、友だちの考えのよさに気づく。

語り手  
物語の地の文を語る人  
164ページ  
自分  
165ページ

**1 言葉に着目しよう**

人物を表す言葉、だれが語っているのかに気をつけて読みましょう。

・豆太はとくびょうなつばない（122ページ）  
・ゆうきのある子もだんだんからな（132ページ）  
など

**2 えらんで読み深めよう**

次の中から一つえらんで、考えましょう。

○豆太の行動  
○豆太の、自分身への見方  
○「じさ」から見た「豆太」  
○豆太の、モチモチの木への思い

**3 つたえ合いのれい**

「言葉のたから箱」 165ページ

「ぼくは、「豆太」はゆうきが あるなと思いました。「豆太」は見た場面では、「豆太」は、ぼくが「豆太」だったら、――。」

**ふりかえり**

知る どの言葉から、「豆太」がどんな人物かをそうそうしましたか。  
読む 友だちの考えを聞いて、新しく気づいたことや、考えが変わったことは何ですか。  
つなぐ 着目する点をえらんで読んでみて、どう思いましたか。

**学習**

**たいせつ**

登場人物についての考えをつたえ合う

○ 次のことに着目し、場面や言葉を読むにつけながら、登場人物の気持ちのへんかやせいかくについて考える。  
・ その人物の行動や会話  
・ 語り手や他の登場人物が、その人物について語る言葉

○ 考えるときに着目した言葉や文を明らかにしながら、登場人物と自分をくらべて感じたことをつたえる。  
○ 他の人と感想を交流すること、新しい考えに出会うことができる。

物語を読んだら、友だちと交流して、登場人物や物語についての考えや感じ方のちがいを案じましょう。

15

**この本、読もう**

斎藤隆介さんの本です。どんな人物が出てくるでしょうか。

**ソメコとオニ**

ソメコは五さいの女の子。オニにさらわれて平気ですと断言しています。つかれたオニは、――。

**花さき山**

山で遊ばまよったあやは、一面にさく美しい花びら。山は、そのひみつを教えるくれました。

**八郎**

八郎は、山のように大きな男。波を渡る村の人々を助けた、とある行状に出ます。

16

## ここに注目！

新版の教科書に新しく設定された**問いをもと**は、教材を一読した後、子どもに投げかけるだけでなく、少し授業が進んできて、子どもたちの読みが耕されてきたタイミングで提示する方法もあります。そうすることで、より深い話し合いにつながることもできます。

子どもたち自身に自分なりの問いを考えさせる場合にも、ある程度読みが深まったり、クライマックスが見えたりしてきたところで考えさせてみましょう。そうすると、ポイントが絞られた問いが生まれ、みんなで議論できる問いに収斂（しゅうれん）していくことができると思います。



## 言葉のたから箱

人物や出来事について説明したり、自分の考えや感想を伝えたりするときに役立てましょう。似た意味の言葉や反対の意味の言葉を書き足してもいいですね。

### 人物を表す言葉

- ゆうかん
- 行動力のある
- 責任感が強い
- 無責任
- がむしや
- 用心深い
- のんき
- せっかち
- 器用
- 熱心

### 物や事からの様子を表す言葉

- かんべき
- 着実
- 十分
- さすが
- を上回る
- 二つとない
- このうえない
- かんじん
- ずばぬける
- すさまじい



これまでに学んだ言葉を見よう。

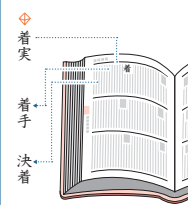
### 気持ちを表す言葉

- 親しむ
- 関心をもち
- きょうみ深い
- 打ちこむ
- 熱中
- 目がはなせない
- いたわる
- こうかい
- むねがいたむ
- ためらう

- じれったい
- 手にあせをにげる
- しじふ
- にくい
- 意外
- 目をうたがう
- 不気味
- 思いこむ
- なごむ

### 漢字辞典を使う

ここにある言葉に使われている漢字を調べてみましょう。漢字の読み方や意味、その漢字を使った他の言葉を知ることができます。



158

語彙力は、社会生活を営む上で重要な力です。

言葉の宝箱では多くの言葉を獲得できるよう、学習や日常生活でも役立つ言葉を集めました。

評価語彙や感想語彙を三つのカテゴリーで提示しています。また、前の巻までに学習した言葉を確認できるQRコードも付いています。



## ここに注目！

巻末にあるので、いつでもすぐに開くことができます。また、折り込みを広げると、そのとき学習している教材と「気持ちを表す言葉」を同時に見ることができるという利点があります。これを生かして、話したり書いたりする学習において、表現のヒントを得ることがができます。文学教材で人物像などを考えるときにも、教材のページとあわせて参照するとよいでしょう。

このページを学習材として、言葉のもつニュアンスを考えさせるのも効果的な学習になります。この一覧から発展させ、身近な言葉を集めて比べたり、辞書で意味を調べたりするなどの活動が考えられます。似ている言葉を比べて違いについて考えていくことは、言語感覚を磨くいちばんの基本です。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

# 情報を整理・活用する思考ツール

## 「図を使って考えよう」

### 図を使って考えよう

考えを整理したり、広げたりするとき役立てましょう。

### 分ける

たくさんある物事を考えは、いくつかのまとまりに分けると、整理することができず。

### ふせんやカードに書き出す

休み時間よりよく考えずには、おすめの本をみんなと読んでみる。ていねい。図書で、他の学部の人と遊ぶ。

### くらべる

表に整理すると、物事を考えるのくらやうが、くべやすくなります。

### 〇と×をよき書き出す

発表会を何をするか  
・全員がさんでできる。  
・それをそれう役をする。  
・台本を作る。・いしうを作る。  
・みんなて歌う。・曲を決める。

### 広げる

中心となる事から、思いついたことをつなげて書いていくと、考えを広げやすくなります。

### 〇中心となる事から書き、線でつなぎながら書く

中心となる事から、思いついたことをつなげて書いていくと、考えを広げやすくなります。

### 〇思いついたことから、それが選り、そこからさらに広げる

二段階  
お祭り  
いきのよいところ  
商店街  
いちょう山  
あさぎ川  
二段階  
ひかり公園  
しぜん  
いちょう山  
あさぎ川

秋のこうようが美しい。たくさんの人が見に来る。

160

言葉の宝箱の裏面には、思考ツールをまとめたページを新設しました。情報を整理する方法や、整理した情報を伝えるときの言葉を確かめることができます。

一人で考えるときにも、みんなで考えを共有するときにも活用でき、他教科の学習にも応用できるページです。

## ここに注目！

このページは、教材文を分析的に読んでいくときや、集めた情報を整理したり考えを広げたりしながら作文メモやスピーチメモを作るとき、また、漢字や言葉の学習をする際にも活用できますね。

特に低学年では、あらかじめ教師が教材にふさわしい思考ツールを選んでおき、子どもたちに記入例のサンプルを提示するのも有効な使い方です。そうした低学年からの積み重ねが、子どもたちが主体的にこのページを活用するきっかけになります。



こう使う、  
新版『国語』



ここに注目！

【説明的な文章】

今回新たに入った「ロボット」（二年）と「未来につなぐ工芸品」（四年）に着目してみましょう。この二つの教材は、説明的な文章の系統を考える上で大きな転換点になっています。一年と二年前半までの文章構成は、基本的に「問い↓答え」となっていたのに対して、「ロボット」では初めて「問い↓答え↓まとめ」という構造になります。また、「未来につなぐ工芸品」は、「主張↓理由↓結論」という論説型の初歩的な形式になっています。このように説明的な文章は、文章構成についても着実にステップを踏んで系統的に学べるようになっています。

【説明的な文章】

|    |                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一年 | 新 つぼみ<br>うみの かくれんぼ<br>じどう車くらべ<br>どうぶつの 赤ちゃん<br>たんぼぼの ちえ<br>どうぶつ園のじゅうい<br>新 紙コップ花火の作り方<br>新 ロボット                                                                                   | 川北 篤<br>増井光子<br>植村利夫<br>植田美弥<br>丸林佐和子<br>佐藤知正<br>熊谷博人<br>安藤正樹<br>国分牧衛<br>大滝哲也<br>木村博之<br>中谷目出<br>大牧圭吾<br>岩谷圭介<br>野口 廣<br>今井むつみ<br>今泉忠明<br>下村健一 |
| 二年 | 新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 三年 | 新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 四年 | 新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 五年 | 新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 六年 | 新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |

【文学的な文章】

六年間を通じて、いわゆる定番教材と新教材とのバランスがよくとれた系統になっています。新教材の「みきのたからもの」（二年）はSF作品「友情のかべ新聞」（四年）はなぜ解きを取り入れたミステリーで、子どもたちのわくわく感を引き出し、読むことの楽しさにいざなう工夫がされています。「春風をたどって」（三年）は、導入部や展開部の伏線が山場・終結部で見事に回収される、仕掛けが鮮やかな作品です。また、「主人公の変容（発展）」に着目する、「人物相互の関係性の変化（発展）」に着目する、「伏線」に着目する、「伏線の回収」「象徴」に気づく、「主題を読み取る」など、物語のさまざまな読み方（着目点）を学ぶのに適しています。

【文学的な文章】

|    |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 二年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 三年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 四年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 五年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |
| 六年 | はなの みち<br>おおきな かぶ<br>やくそく<br>くじらぐも<br>たぬきの 糸車<br>ずうっと、ずうと、大すきだよ<br>新 春風をたどって<br>まいごのかぎ<br>ちいちゃんのかげおくり<br>三年とうげ<br>モチモチの木<br>白いぼうし<br>一つの花<br>ごんぎつね<br>新 友情のかべ新聞<br>新 スワンレイクのほとり<br>新 銀色の裏地<br>たずねびと<br>やなせたかし——アンパンマンの勇氣<br>大造じいさんとガン<br>帰り道<br>やまなし | 岡 信子<br>西郷竹彦<br>小風さち<br>中川李枝子<br>岸 なみ<br>工藤直子<br>レオニ作／谷川俊太郎訳<br>アーノルドローベル作／三木卓訳<br>蜂飼 耳<br>大塚勇三<br>如月かずさ<br>斉藤 倫<br>あまんきみこ<br>李 錦玉<br>斎藤隆介<br>あまんきみこ<br>今西祐行<br>新美南吉<br>はやみねかおる<br>小手鞠るい<br>石井睦美<br>朽木 祥<br>梯 久美子<br>椋 鳩十<br>森 絵都<br>宮沢賢治<br>畑山 博 |

